して、DPPHを試薬として使用した。

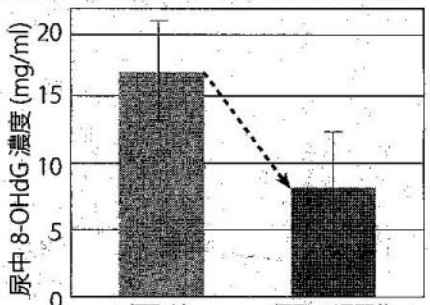
DPPHラジカルの消去活性を比較したところ、CoQ10が五%未満の消去活性度を示したのに対し、γ-CD包接体CoQ10は二〇%前後と、大きな差が示された。またα/β-CDなどの他種の包接体同士の比較でも、γ-CD包接体CoQ10だけが二〇%前後の高い活性度を示した。

㈱総合健康開発研究所では、抗酸化作用の検証を深めるために、γ-CD包接体CoQ10を含有したサプリメント摂取による「尿中8-OHdGの減少効果について」の検討も行っている。8-OHdGは、ガンや生活習慣病、老化促進の原因となるDNAの損傷を引き起こす原因とされる物質。

試験は、喫煙者一〇名にγ-CD包接体CoQ10を含有したサプリを摂取させ、その摂取前後の尿中8-OHdGの変化を調べた。その結果、尿中8-OHdGが六週間で半分に減少し、γ-CD包接加工を施したCoQ10の抗酸化能が向上したことが示された。

以上のような結果から、ラジカル消去活性を高め、酸化ストレスマーカーとなる尿中の8-OHdGを減少させることが可能な環状オリゴ糖（CD）は、アンチエイジング効果を高める技術としても大いに注目を集めている。

■喫煙者10人の尿中8-OHdGの変化



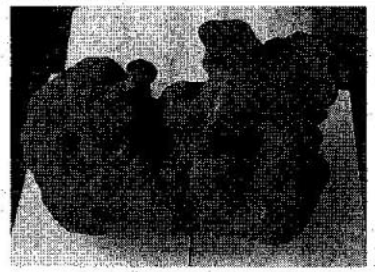

※摂取前と各摂取後をDunnettの検定で統計解析を行った
n=10 P<0.001 解析機関：(株)総合健康開発研究所

## イジングでも注目

## 原料供給を強化

## 糸体原料を廉価で提供

業の進出が相次ぎ、ポスト・アガリクスとして期待されている。



台湾で人気が高い樟芝

同社では、数年前よりサンプルワークを開始しているが、日本国内において樟芝の知名度が低いこともあり、商品化に至っているケースは少ない。輸入原料の多くが1キロ三万円前後で推移していることから「今後の市場性をみて、他社よりも価格を抑えて供給していきます」（岡本社長）といい、低迷しているキノコ健食市場の底上げを図っていく方針だ。

なお同社では「樟芝」を商標登録している。

## を抑制

## で顕著

ポジウム、八月の第二六回日本糖質学会年会にて発表される。

同社は、高分子ガゴメコ

jp

## 究極のサプリ「花粉エキス」vol.9

シンシア・R・メイ CEO

神田医新クリニック（東京都中央区岩本町）は泌尿器科専門で前立腺肥大や男性更年期障害の治療をされています。当クリニックの日本前立腺協会の代表である横山先生にお願いして、前立腺炎、前立腺肥大の知見を取っていただきましたのでご紹介します。服用方法は今までと同じ、1日6錠を朝、夕食後に3錠ずつを1ヵ月～2ヵ月間飲んでいただきました。対象者は13名でIPSS（国際前立腺症状スコア）のスコアを基に改善度が判定されました。

結果は13名中2名が（1名は服用開始前のSPAの値が上昇していたため、他の1名は服用前に胃部不快感を訴えたため）知見中止となりました。他の1名は服用後のIPSS未記入のため結果判定より除外しました。

結論として、平均年齢66.1±5.7、IPSSのスコアが下がり改善したのは10名中9名で、服用前のIPSSの平均は15、服用後の平均は11でした。また改善した人で陰部痛、勃起、射精困難、排尿時痛の症状が現れていた患者も諸症状は改善傾向にありました。

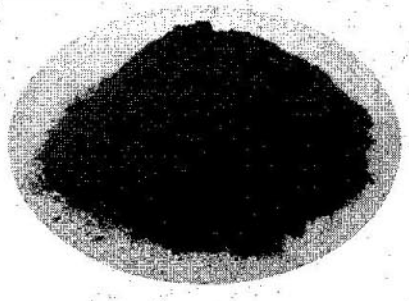
先生は「前立腺に炎症が起きた場合、細菌性の場合と非細菌性の場合があるが炎症部分の再形成が必要になってくる。花粉エキスには細胞の修復に必要なアミノ酸やコエンザイムとして働くビタミンやミネラルが豊富に含まれており、迅速な修復が可能となる。また、前立腺に必要な亜鉛やセレンも含まれているために前立腺の機能も回復してくれるものと思われる」と結論づけられています。

日本市場ではすでに当社の花粉エキスとノコギリヤシエキスの合剤が発売を開始されたとの報告が来ています。

今後も高齢化社会を迎える日本で益々その必要性が出てくると思えます。


グス

に協力



●文部科学省所管のJSTよりの
委託事業で開発

水と生きる SUNTORY

中性、
に告ぐ

その食事、
脂肪吸収
特保、
サントリー
来たる！